

# PFI・PPPに関する地域WS ～ PFI選定委員の視点から～

2015年12月18日



九州支店 企画調査課

# PFI選定委員からの視点(個人的見解)

## 選定委員の構成(例)

- 大学教授(その分野の専門家)複数名
- 地元のNPO団体代表
- 金融機関代表(中立的な立場から政府系が多い)
- 当該自治体の関係部署(部長) など

## 選定の流れ(例)

- 書類による評価(複数回)
  - 自治体担当者からの説明
  - 実査
  - 応募書類の評価
  - 質問事項の洗い出し
  - 委員による議論
- 企業との面談
  - 企業毎に入室(自然体で。内容が重要です。)
  - 制限時間内で説明
  - 質疑応答
- 委員による評価

## 論点(例):個人的見解です

- 事業に対する考え方(その場で確認)
  - 問題意識の確認(なぜこの事業をやりたいのか)
- 代表企業(名前は伏せられています)の能力
  - 経験、事業継続の仕組み、協力体制などヒアリング
- 提案内容
  - 現実的な内容か(コスト度外視のイメージ先行になっていないか?)
  - 想像を働かせ細部まで考えられているか?
    - ✓ 動線、トイレ(女性目線)、エスカレータの位置、適度な休憩スペースなど
- 問題意識と提案内容に筋が通っているか

## 事例：図書館のPFIを考える

以下はあくまで架空の話です。

- 企業A
  - 全国規模の図書館運営の最大手
  - 東京の企業が代表企業(地元企業は運営面で協力)
- 企業B
  - 全国規模の有名企業(映像メディア関係)で飲食サービスもてがける(図書館の運営実績なし)
- 企業C
  - 地元のローカル企業(図書館の運営実績なし) + 全国規模の企業(科学館や図書館の運営実績あり)

## 事例：提案内容(架空の話です)

- 企業A
  - 問題意識は？
    - ✓ 全国での実績が豊富であることをアピール  
問題意識になっていないので、更に聞くと、
    - ✓ 小学生の本離れ(ですかねえ…、という程度)
  - 設計図
    - ✓ 全国で展開していることもあり、無難な印象
  - 運営
    - ✓ 代表企業が全国で統一しているノウハウを適用
    - ✓ 地元の企業、商店街や大学とのコラボ
    - ✓ 地元の経済団体の関心表明を取得  
地域貢献色が弱い部分を補強しているが、その意図は？  
問題意識との一貫性はあるか？  
場当たりの対応になっていないか？

## 事例：提案内容(架空の話です)

- 企業B

- 問題意識は？

- ✓ 図書館の来客数が減っているので、映像を多用して図書館のイメージを変え、来客数を増やしたい。
- ✓ 今までの図書館にない気軽に飲食もできる、カジュアルな雰囲気を作りたい。

- 設計図

- ✓ 映像ルームの設置
- ✓ 飲食スペースの設置
- ✓ デザインも有名デザイナーとコラボ

- 運営

- ✓ 図書館運営の経験はないが、東京の図書館運営の実績会社と協力(業務提携まではしていない)
- ✓ 定期的に上映イベントを開催  
コンテンツの著作権は？ 追加コストは？



## 事例：提案内容(架空の話です)

- 企業C

- 問題意識は？

- ✓ 親子での利用が増える中、ファミリー層向けの対応がなされていない
- ✓ 小学生の本離れ

- 設計図

- ✓ 親子でふれあいながら本が読めるファミリールームの設置(他の客層に迷惑がかからないような設計)
- ✓ 子供の目線も考慮された動線計画
- ✓ 子供が目に入りやすい視野の確保
- ✓ 自治体の要望も包括的にクリアしている

- 運営

- ✓ 地元の幼稚園・小学校やNPO団体とのコラボ
  - ◆ 幼稚園や小学校への出張教室の開催
- ✓ 全国規模の企業と提携しておりイベントの質が高い

## 事例：採択決議（架空の話です）

- どの企業が選ばれると思いますか？

ご質問、ご相談等がございましたら、何なりと下記連絡先にお問い合わせください。

**< 連絡先 >**

**株式会社日本政策投資銀行**  
**九州支店 企画調査課長 青木 崇**

Tel : 092-741-7828

Fax : 092-713-8248

著作権(C) Development Bank of Japan Inc. 2015

当資料は、株式会社日本政策投資銀行(DBJ)により作成されたものです。

当資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢および当行が合理的と判断した一定の前提に基づき作成されておりますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません

当行の承諾なしに、本資料(添付資料を含む)の全部または一部を引用または複製することを禁じます。